

桜環境新聞

夕食もレストランで

新しいメニューが始まります

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類」になったことにより、5月11日(木)から余熱体験施設3階のレストラン「菜土(さいと)」の夜の営業を3年ぶりに再開しました。お昼に加え、休日の夕方家族連れなどで賑わっています。

レストランでは、地元食材を主に使用した、手作りのメニューをご提案。和洋中を織り交ぜた人気の日替わり定食は、1日15食限定です。

今春から、中華料理歴35年以上という料理長に変わり、6月にメニューを一新。「麻婆豆腐」「茄子味噌」「ヒレカツ」などの定食が増えるほか、お子さまセットのメインや料理のソースが選べるなど、より柔軟な内容になります。



500円以上注文した方が、埼玉県公式LINEアカウント「埼玉県庁」の「パママ応援ショップ優待カード」を提示



春の季節限定メニュー「海老と長茄子のチリソース定食」と「プリン&アイス」

すると、ジュース・揚げエビせん・アイスクリームが当たるクジが引けます。ぜひご利用ください！

【利用方法】

- 営業時間：11～15時 / 17～20時(ラストオーダーは各終了時間の30分前)
- 定休日：月曜(祝日の場合は翌日)
- ※3階レストランのみの利用では、90分間は入館料がかかります。受付に「レストラン利用」とお伝えください(90分以降は入館料がかかります)。



さいたま市
桜環境センター

〒338-0834
埼玉県さいたま市桜区新聞4-2-1
(月曜休館)

【環境啓発施設】
Tel:048-710-5345

【余熱体験施設】
Tel:048-710-5344

【施設見学・持込・その他】
Tel:048-710-6010

【ホームページ】
<https://sakura-kc.saitama.jp/>



環境啓発施設 公式SNSアカウント

Facebook

Instagram

環境啓発施設 E-mail
sakura@com-sup.com



「持ち帰り」3R マーケット開催

市民の方から受け入れた品を必要な人が持ち帰れるイベントを、4月29日(土・祝)に開催しました。昨秋から「受け入れ」は月に2回ほど行ってきましたが、館内での「持ち帰り」は3年ぶりの開催です。当日は73名が訪れ、品物を選び、持ち込んだ方への感謝の言葉をメッセージカードに記入していました。

次回以降の受入日は紙面右下のQRコードからご覧ください。



3R マーケットの様子

利用団体の活動予定

- 桜金継ぎサークル (割れた器を金で再生)
 - 5月24、31日
 - 6月7、14、21、27日
 - ◇ 毎週水曜 9～12時
- 布遊びの会さくら (古布を和の小物へ)
 - 5月25日
 - 6月8、22日
 - ◇ 第2・4木曜 13～15時
- さくら布ぞうりの会 (古布で作る布ぞうり)
 - 5月23日
 - 6月13、27日
 - ◇ 第2・4火曜 10～12時
- グループ「好和」 (着物のリメイク)
 - 6月20日
 - ◇ 第3火曜 9時半～12時
- 桜・一閑張りを広める会 (和紙と柿渋でリメイク)
 - 5月24日 / 6月28日
 - ◇ 第4水曜 9～12時

LINE 公式アカウント
お友達募集中!

友達登録で3Rやイベント、ごみの正しい出し方などの最新情報をお届けします。

3Rマーケット受け入れ

6月16日(金)、17日(土)
10:00～11:30、13:30～16:00

さいたま市在住の方、1人30点まで。
電話【048-710-5345】で予約をしてからお越しください。

募集 詳細はこちら

子ども服、夏物衣料、小物など

麦秋至

一七十二候だより

「五月31日～6月4日頃」

初夏、麦が黄色く色づき収穫する頃を、米が実る秋になぞらえて「麦の秋」「麦秋(ばくしゅう)」といいます。

5月初旬、ビオトープ「シーオ」の田んぼにイネの種まきをしました。秋の収穫まで変化していく田んぼの様子にご注目ください。

ビオトープ「シーオ」に 苗代を設置しました



種まきの様子

5月4日(木・祝)、シーオそだて隊のイベントで「イネの種まき」を行いました。今年は「さよむらさき」という黒い古代米の種を使用しました。育苗箱(いくびょうばこ)の一つのマスに3粒ずつ入れ、土をかぶせていきます。

午後には、イネを育てる苗代(なわしろ)を作りま



苗代を田んぼに設置

した。種をまいた育苗箱を田んぼの中に並べ、ネットをかけたら完成です。

シーオの田んぼは「生きもの第一」でイネを育てる田んぼです。皆さんが小さいさまざまな種が、今シーズンいっぱい、多くの生きものの命をはぐくみます。そんな生きものたちに会いに遊びに来てください。



「シーオささえ隊」募集中です

シーオささえ隊 募集中!

「シーオささえ隊」は、シーオの立入禁止エリアにも入り、管理作業を体験し、シーオの成長や活動を支えるグループです。

自然のしくみや生きものの知識も、より詳しく学べます。参加をお待ちしています。詳細はこちら。



桜環境センターの 利用団体紹介

フードパントリー 大宮

食料支援でつながって

フードパントリー大宮の活動は、DVから避難してきた母子家庭の集りで、生活が苦しく食事に困っているとの声が上がったことから2019年に始まりました。

フードパントリーとは、食品倉庫の意味。家庭や企業などで不要となった食品を必要な人に届けるフードドライブとして、困っている家庭に配布しています。

活動を支える協力者

多くのボランティアの方と2か月に1回、登録している家庭に連絡して食料を配布します。「何度かパントリーに通われると、様々な相談をしてくれる人もいます。わずかな量の配布ですが、母子家庭の孤立を防ぐ、寄り添いの支援になっていると感じます」と代表の尾内浩子さん。



活動継続のため支援を

フードパントリー大宮では、配布場所と活動資金と運搬用の車が不足しています。尾内さんは、食品を廃棄している企業・農家・個人の方と知り合いたいと常々思っています。

「果物や野菜の加工工場の皆さま、廃棄食品をパントリーと協働して、支援に使うことをご検討いただくと幸いです」とのこと。不要な食品に心当たりがある方、ぜひご一報ください。●フードパントリー大宮をより詳しく紹介しているHPはこちら。



知っているようで知らない 番外編 【ごみの正しい出し方】

発火の危険



4月、桜環境センターのリサイクルセンターでアルミ選別機の火災が起きました。「もえないごみ」に混ざっていたリチウムイオン電池が発火したものです。

充電して使用する家電などに内蔵されているリチウムイオン電池は、潰されたり砕かれたりすると発火する性質があります。

**充電式電池内蔵の
主な製品**

ハンディファン、電気かみそり、電子たばこ、コードレスクリーナー、電動歯ブラシ、ゲーム機

処分する際は、①電池を取り外せるものは外して電極にテープを貼り(絶縁)、電池回収箱に入れる。②取り外せないものは本体ごと使用済小型家電回収ボックスに入れる、③回収ボックスに入らないものは、ごみ処理施設に直接持ち込む。いずれかの方法で行ってください。

電池回収箱は、各区役所、コミュニティセンター、図書館、公民館などに設置してあります。

小型家電投入口 30x15cm

電池回収箱

使用済小型家電回収BOX

**電池、バッテリーは
電池回収箱へ**